

# 稲美町教育委員会議事録

1 開催日時 令和5年2月22日(水) 開会 15時30分  
閉会 16時30分

2 開催場所 稲美町役場303会議室

3 会議に付した事項

## 日程第1 諸報告

(1) 行事・経過報告について

(2) 2月・3月の行事予定について

## 日程第2 報告

報告第24号 専決処分したものに承認を求めることについて

専決第24号 専決処分書(令和4年度3月補正予算に係る意見について)

報告第25号 専決処分したものに承認を求めることについて

専決第25号 専決処分書(令和5年度稲美町教育予算に係る意見について)

## 日程第3 その他

(1) 1月分問題行動件数について

(2) 総務福祉文教常任委員会の報告について(総務福祉文教常任委員会資料参照)

(3) 令和4年度第2回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会の報告について

(4) 令和4年度第4回稲美町社会教育委員会の報告について

## 4 出席委員

教	育	長	北	谷	錦	也
委		員	後	藤	哲	夫
委		員	本	多	澄	子
委		員	高	田	道	夫
委		員	松	田		緑

## 5 出席職員

教育政策部長	沼田弘
生涯学習担当部長兼文化の森課長	山本勝也
教育課長	奥陽一

学校教育担当課長	野 邊 久 美
管 理 担 当 課 長	井 上 智 久
人 権 教 育 課 長	瀧 口 泰 広
生 涯 学 習 課 長	北 口 和 美

## 6 開 会

### 教育長

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中ご出席をたまり、誠にありがとうございます。

本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により定足数に達しております。よって、会議が成立していますので、ここに開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付いたしております。

会議の傍聴についてですが、傍聴される方はいらっしゃいません。

次は、議事録の承認です。1月の定例会議事録をお手元に配付いたしておりますが、これを承認いただけますか。

### 各委員

異議なし。

### 教育長

異議なしのお声をいただきましたので、議事録は承認されました。

次は議事録署名委員の指名であります。議事録署名委員は、稲美町教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、教育長から指名いたします。本日は、本多澄子委員にお願いします。

続きまして、私から、日程第1、諸報告ですが、別紙資料の通りです。

続きまして、各課より報告をお願いします。

教育課 (報告内容省略)

人権教育課 (報告内容省略)

生涯学習課 (報告内容省略)

文化の森課 (報告内容省略)

### 教育長

各課の報告について、何かご意見があればお願いします。

### 教育長

次は、日程第2、報告第24号 専決処分したものに承認を求めることについて、専決処分書「令和4年度3月補正予算に係る意見について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。報告第24号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第2、報告第25号 専決処分したものに承認を求めることについて、専決処分書「令和5年度稲美町教育予算に係る意見について」を議題といたします。事務局から提案理由の説明を求めます。

沼田部長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これより採決に入ります。報告第25号は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり承認されました。

次は、日程第4、その他(1)「1月分問題行動件数について」を事務局から説明願います。

奥課長 (説明内容省略)

瀧口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

後藤委員

中学校の不登校が42人ということで、1月と比べて51人から42人ということで、何十日以上ということでしょうか。

瀧口課長

1月から30日以上でカウントするので、例えば24とか25とかいう数字は入ってこないということになります。

後藤委員

中学校の女の子が8人が継続数ということで、前年度までは8人だったということでしょうか。

瀧口課長

この21人の中で、前年度から継続されているのが8人ということです。

本多委員

稲美中学校でのふれあいルームの使用状況というのを教えていただけますか。

瀧口課長

正確な人数は聞いておりませんが、常時2,3人の子たちが入って来ていると聞いております。具体的な人数は、中学校に聞けばわかるのですが、今資料を持ち合わせておりませんので、お答えが出来なくて申し訳ございません。

教育長

次は、(2)「総務福祉文教常任委員会の報告について」を事務局から説明願います。

北口課長 (説明内容省略)

井上課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

次は、(3)「令和4年度第2回稲美町生きる力を育むための小・中連携推進委員会の報告について」及び(4)「令和4年度第4回稲美町社会教育委員会の報告について」を事務局から説明願います。

奥課長 (説明内容省略)

北口課長 (説明内容省略)

教育長

このことについて、何かご意見はございませんか。

高田委員

生きる力を育むための小・中連携ということで、班に分かれての協議があって、私が一番良いなと思ったのは、学校学級に自分の居場所があると思える事が大切である事です。私の勝手な考えですが、不登校になる子ども達には、自分の性格、あるいは家族の問題等があるわけですが、一方で、学級の中でもいじめという目に見える形ではなくて、言うに言えない同調圧力と申しますか、要はみんなと同じでないといけない、僕たちの時とは比べると少ないと想像はするのですが、そういうこともあるのではないかと思います。自分自身のメンタルの問題、学級に単純にいじめ、そういうことではなくて、「あいつは違う。みんなと一緒に同じことはできない。」という空気が生まれた時に、その子は敏感に感じるのではないかと思います。学級でのいじめという目に見える形ではなくて、空気感というのか、そういうのが出てくるのではないかと思います。したがって、適応指導教室とか、ふれあい教室をきちんと整備して、人も配置して、雰囲気も漫画も置いたりして、楽しく過ごせるように、そういう具体的などころをきちんと進めていってほしいと思います。

## 教育長

小・中連携推進委員会、高田委員が言われるように、学校作り、集団作り、民主的な集団作りをどうやって作っていくか、その中でよく言われる、中学校になったら不登校生が増える、そこには課題として、どんな仲間作り集団作りをしていくのかというのがあると思います。参考にさせていただいて、今後子ども達の民主的な集団作りに努めていきたいと思っています。

## 後藤委員

自己肯定感、自尊感情、学校教育の中で、自己肯定感を持てるような仕組みと言いますか、不登校対応ということで、具体的には結構あるのではないかと思います。例えば部活動で言うと、今まで一回も勝ったことがなかった子が初めて勝てた、称賛に値することなんです。そういうことをちゃんと意識して、みんなに伝えていくという事、自分が目標としていたこと理想としていたことが出来たというのも大事な事、今自分がいるところよりも少しでも上に、頑張って上達したことを称賛する。どれだけ伸びたかということを中心に、そういう風なことを学級とか行事とかの中で大事にしていくことが、大切だと思います。先生方もそういう目を見て、先生方自身が自分の可能性を信じて教師として人間として、伸びていこうと考えておられるかどうか、というところが関係すると思います。子どもの見方、どれだけその子が伸びたかということを中心にしていこう、そういう心の持ちようというのが、不登校をなくす上で大事だと思います。

## 教育長

まさしく、先程高田委員のお話にもありましたが、集団作り、仲間作り、学校作り、どうしていくのか。民主的な集団、それぞれの概念が違う中で、どうやって作っていくのか。やっと最近、それが示されているのかなと思うのが、SDGS という中で、誰一人取り残さないという言葉が出てきました。多様性を認めるということ、全てを受け入れ、その中で一人一人の違いを認めていく、誰一人取り残さない、後藤委員の言われた、それぞれの良さを認め合える、そんな集団作りというか、仲間作りが大切なのかなと思います。お二人のご意見を基に、各学校の取組を支援していきたいと思っています。

他に、何かご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、以上で、本日の議事はすべて終了しました。

なお、次回定例教育委員会は、3月16日(木)(時間は14:30(臨時)予定です)ですので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の会議を閉会といたします。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。